

# 非危険物水性厚膜形有機ジンクリッチペイント

# 水性ジンキー-8000HB(新)

## 概要

水性の有機質系(エポキシ樹脂系)厚膜形(標準乾燥膜厚75 $\mu$ m/回)ジンクリッチペイントです。水性タイプにすることにより、従来品よりも臭気が少なく、また消防法上の非危険物として取扱いが可能で、安全性が高く環境にやさしい塗料です。「ニッペ水性防食システム」として、オール非危険物水性重防食塗装が可能です。

## 特長

- ①水道水で希釈ができ、臭気が少なく環境にやさしい塗料です。
- ②非危険物で、安全性が高い塗料です。
- ③特許取得済みの独自技術により亜鉛未混合時の分散安定性が良好で、作業性にすぐれています。
- ④厚塗りが可能で(エアレススプレー塗装 標準乾燥膜厚75 $\mu$ m/回)、防食性にすぐれています。
- ⑤特殊エポキシ樹脂を配合することにより、密着力がすぐれています。

## 用途

各種鋼構造物の重防食塗装の防食下地

## 塗料性状

色相	グレー			
密度(g/cm <sup>3</sup> )(23℃)	2.61(混合塗料)	1.08(塗料液)	1.04(硬化剤)	6.90(粉末)
加熱残分(%)	81(混合塗料)	46(塗料液)	26(硬化剤)	100(粉末)
危険物表示	塗料液:非危険物		硬化剤:非危険物	粉末:非危険物

## 塗装仕様例

### 標準塗装仕様①(ふっ素樹脂仕上げ/スプレー塗装)

塗装工程	一般塗料名	製品名	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り回数	塗装方法	シンナー名(希釈率)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	標準膜厚( $\mu$ m/回)	
素地調整	プラスト処理によりISO Sa2 1/2まで除錆してください。							4時間以内	—
防食下地	非危険物水性厚膜形有機ジンクリッチペイント	水性ジンキー-8000HB(新)	0.60	1	エアレススプレー	水道水 0~5%	16時間~10日	75	
下塗り	非危険物水性変性エポキシ樹脂下塗り塗料	水性ハイボン20	0.23	2	エアレススプレー	水道水 0~5%	4時間~10日	50	
中塗り	非危険物水性ふっ素樹脂塗料	水性デュフロン100中塗	0.17	1	エアレススプレー	水道水 0~5%	4時間~10日	30	
上塗り	非危険物水性ふっ素樹脂上塗り塗料	水性デュフロン100上塗	0.14	1	エアレススプレー	水道水 0~5%	—	25	

※ポリウレタン樹脂仕上げも可能です。中塗りに水性ハイボン30中塗、上塗りに水性ハイボン50上塗をご使用ください。  
注:上記の各数値は、すべて標準的なものです。施工方法・施工条件・被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。  
上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

### 標準塗装仕様②(ポリウレタン樹脂仕上げ/はけ・ローラー塗装)

塗装工程	一般塗料名	製品名	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り回数	塗装方法	シンナー名(希釈率)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	標準膜厚( $\mu$ m/回)	
素地調整	プラスト処理によりISO Sa2 1/2まで除錆してください。							4時間以内	—
防食下地	非危険物水性厚膜形有機ジンクリッチペイント	水性ジンキー-8000HB(新)	0.25	2	はけ・ローラー	水道水 0~5%	16時間~10日	40	
下塗り	非危険物水性変性エポキシ樹脂下塗り塗料	水性ハイボン20	0.20	2	はけ・ローラー	水道水 0~5%	4時間~10日	50	
中塗り	非危険物水性ポリウレタン樹脂塗料	水性ハイボン30中塗	0.14	1	はけ・ローラー	水道水 0~5%	4時間~10日	30	
上塗り	非危険物水性ポリウレタン樹脂上塗り塗料	水性ハイボン50上塗	0.12	1	はけ・ローラー	水道水 0~5%	—	25	

※ふっ素樹脂仕上げも可能です。中塗りに水性デュフロン100中塗、上塗りに水性デュフロン100上塗をご使用ください。  
注:上記の各数値は、すべて標準的なものです。施工方法・施工条件・被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。  
上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・塗り回数を調整してください。

### 【鋼道路橋防食便覧】環境に優しい塗装仕様例(一般外面用の塗替塗装系)(素地調整程度1種、スプレー塗装)

塗装工程	製品名	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り回数	塗装方法	シンナー名(希釈率)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	標準膜厚( $\mu$ m/回)
素地調整	1種					4時間以内	—
防食下地	水性ジンキー-8000HB(新)	0.30	2	エアレススプレー	水道水 0~5%	1日~10日	37.5
下塗り	水性ハイボン20	0.20	3	エアレススプレー	水道水 0~5%	1日~10日	40
中塗り	水性デュフロン100中塗	0.17	1	エアレススプレー	水道水 0~5%	1日~10日	30
上塗り	水性デュフロン100上塗	0.14	1	エアレススプレー	水道水 0~5%	—	25

※上記仕様は鋼道路橋防食便覧(平成26年3月)付属資料 付II-5.「塗装に関する新技術」内(1)「環境に優しい塗装系」の付表-II.5.2「環境に優しい塗装仕様例(一般外面用の塗替塗装系)(素地調整程度1種、スプレー塗装)」に準拠しています。

## 容量

20kgセット(塗料液:硬化剤:粉末=4kg:3kg:13kg)

## 色相

グレー  
日塗工N-50近似色



# 水性ジンキー8000HB(新)

## 使用方法

素地調整：プラスト処理によりISO Sa2 1/2まで除錆してください。

調合：2液1粉末のため「塗料液/硬化剤/粉末=20/15/65(重量比)」の混合比により混合してください。まず、塗料液と硬化剤を混合して十分攪拌し、混合液を攪拌しながら、ダマにならないように粉末を徐々に投入して十分に攪拌してから塗装してください。

ポットライフ：5時間(23℃)

希釈剤：水道水

塗装方法：

塗装方法	エアレススプレー	はけ、ローラー
希釈率	0~5%	0~5%
使用量	0.60kg/m <sup>2</sup> /回	0.25kg/m <sup>2</sup> /回
膜厚(ドライ)	75μm/回	40μm/回
膜厚(ウェット)	165μm/回	85μm/回

※上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

※上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

エアレス条件：一次圧0.4~0.5MPa 二次圧8~12MPa チップNo.163-617,619など

乾燥時間：

	5℃	23℃	30℃
指触乾燥	2時間	1時間	30分
半硬化乾燥	6時間	2時間	2時間
塗り重ね乾燥	24時間以上10日以内	16時間以上10日以内	16時間以上10日以内

※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

## 使用上のご注意

- ①使用時はディスペーを用いて十分攪拌してください。
- ②硬化剤は静置していると、ゼリー状で流動性がないように見えますが、缶を振ったり攪拌すると流動性が発現します。異常ではありません。使用時は、しっかりと蓋をし、蓋が外れないように缶を十分に振って流動性がでてから容器口からそそぐか、天板を切り開封し、取り出すようにしてください。
- ③塗料液、硬化剤、粉末の混合比をきちんと守ってご使用ください。
- ④塗装する時は、まず希釈なしで塗装してください。粘度が高く、塗装しにくい時は、希釈剤を用いて希釈してください。また、少量の希釈でも粘度が大きく低減します。希釈するときは粘度変化に十分注意して、少しずつ希釈するようにしてください。5%を超えての希釈は厳禁です。
- ⑤可使時間は5時間です。この塗料は時間が経っても塗料粘度の上昇がほとんどなく、溶剤形塗料のように塗料粘度の上昇などから使用不可を判断することができません。可使時間の管理は時刻で行ってください。可使時間の過ぎた塗料は使用しないでください。可使時間の過ぎた塗料を使用しますと塗料性能不良の原因になります。
- ⑥被塗物が結露などで濡れている場合は塗装を避けるか、十分水分を除去してから塗装を実施してください。
- ⑦調合後80~100メッシュのふるいでろ過してから塗装してください。
- ⑧動物刷毛は、刷毛が固まったりダマになりやすいので、できるだけ水性塗料用はけ(たとえばナイロン刷毛など)をご使用ください。
- ⑨洗い剤は、基本的に水道水ですが、落ちにくいときはラッカーシンナーをご使用ください。
- ⑩反応硬化タイプですので、必ず、その日に洗浄を終えてください。また、塗料が増粘していても可使時間を過ぎたものは使用しないでください。
- ⑪塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上、また換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
- ⑫外部の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ⑬塗装環境条件によっては、塗装後、塗膜表面にさびが浮いたような現象が生じる可能性があります。塗膜性能に問題はありません。そのような時は念のため面直しをおこない、下塗り塗料を塗り重ねてください。
- ⑭乾燥条件によっては塗膜に粘着を感じられることがありますが時間とともに粘着感はなくなります。
- ⑮一度に厚塗りすると、乾燥不良となり、種々の問題を起こしますので、適正な膜厚で塗装してください。
- ⑯飛散した場合は、速やかに水などを使って拭き取ってください。
- ⑰ニッペ水性防食システムの仕様で塗装してください。
- ⑱新設亜鉛めっき面・没水部・コンクリート面への適用は避けてください。
- ⑲40℃以下、0℃以上の場所で貯蔵してください。塗料液・硬化剤は0℃以下の場合凍結する恐れがあります。
- ⑳作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
- ㉑製品安全に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。

## 安全衛生上の注意事項 水性ジンキー8000HB(新) 塗料液

## 横倒禁止

1. 本来の用途以外に使用しないでください。
2. 粉じん/煙/ガス/蒸気/スプレーの吸入を避けてください。
3. 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
4. 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
5. 気分が悪い時は、医師に連絡してください。
6. 口をすすいでください。
7. 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
8. 吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。
9. 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
10. 施設にて保管してください。
11. 直射日光や水濡れは厳禁です。

12. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
13. 容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げる時には、適切なりついで、垂直に持ち上げ、落下には十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
14. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にはく露しないでください。
15. 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。

※上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。  
■詳細な内容、表示例以外の商品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。  
■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険		危険有害性情報	吸引すると有害/遺伝性疾患のおそれの疑い/水生生物に有害/長期継続的影響によって水生生物に有害
----	--	---------	---

## 日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎ 011-370-3101 近畿支店 ☎ 06-6455-9608  
東北支店 ☎ 022-232-6712 中国支店 ☎ 082-281-2180  
関東支店 ☎ 03-5479-3614 四国支店 ☎ 0877-56-2346  
北関東信越支店 ☎ 03-5479-3614 九州支店 ☎ 092-751-9861  
中部支店 ☎ 052-461-1960

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ジンキー(登録第703773号)は日本ペイント防食コーティングス株式会社の登録商標です。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2020 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-X140

AA200202T  
2020年2月現在